

2018 年 12 月 19 日

報道関係各位

*** 2019 年（平成 31 年） ***

ビジネスマン・OLの年賀状に関するアンケート調査

株式会社パイロットコーポレーション

日本独特のお正月の習慣として、また、普段会えない人へのコミュニケーション手段として、私たち日本人にとって欠かすことのできないのが年賀状のやりとり。当社では、日本人の書き文字文化の象徴とも言える年賀状をテーマに、毎年『ビジネスマン・OL の年賀状に関するアンケート調査』を行っています。今回で 39 回目となる本調査は、首都圏のビジネスパーソンを対象に、11 月 16 日（金）から約 2 週間にわたり調査を実施しました。調査結果の詳細につきましては、次ページ以降をご参照ください。

報道関係者からのお問い合わせ先

株式会社パイロットコーポレーション

Tel. 03-3538-3700

〒104-8304 東京都中央区京橋 2-17-5

【アンケート実施概要】

調査期間 : 2018 年 11 月 16 日(金)～11 月 30 日(金)

サンプル数(概数) : 419 人

年代別サンプル比 :

年齢	男性	女性	合計
20 代	31	54	85
30 代	80	40	120
40 代	67	15	82
50 代	57	15	72
60 代	48	12	60
計	283	136	419

調査対象 : 首都圏の企業・団体等に勤務する 20 代～60 代のビジネスパーソン

調査方法 : 質問用紙の配付・回収による無記名留置調査

- * 集計データのうち、注釈なきものは、すべて単数回答を百分率化しました。
- * 複数回答可の設問では、合計値が 100(%)を超えます。

【アンケート集計概要】

1. 年賀状を「出す」人、ついに 7 割を割り込んで過去最低を更新。「出さない」理由は、「面倒」、「LINE 等メッセージアプリで代用」が上位に。年賀状を用意するのは「12 月初旬」、投函するのは「仕事納め後」で準備期間は約 3 週間。
2. 新年の挨拶に使うツールは「LINE 等メッセージアプリ」がついに「年賀状」超え！
3. 年賀状を出す枚数、50 枚を割り込む。「友人・親類等」に出す枚数が増加。年賀状をもらう枚数は昨年の平均「30 枚」から「38 枚」に大きく増加。「1 月 7 日の松の内」までにもらいたいと思う人が 6 割超え。
4. 年賀状を出すのは「友人・知人」。出たくないのは「仕事関係」だが、昨年と比べて出たくない意向はひかえめ。
5. 9 割以上の人が年賀状をもらって「うれしい」と感じている。もらってうれしい年賀状はイラストや手書きの文字が入った手製の年賀状。
6. 出す方ももらう方も年賀状は「手書き」！年賀状に手書き箇所がある人は 9 割以上。出す枚数は減っても、年賀状は手書きを通じて、気持ちを伝えるツール。手書きに使う筆記具は「ボールペン」が人気。
7. 「年賀状はあった方がいい」は今年も減少傾向だが、いまだ 7 割が「必要」と感じている。「年賀状はなくてもいい」と考える人の半数は「SNS で代用」と答え、形を変えても年始の挨拶は必要だと考えている様子

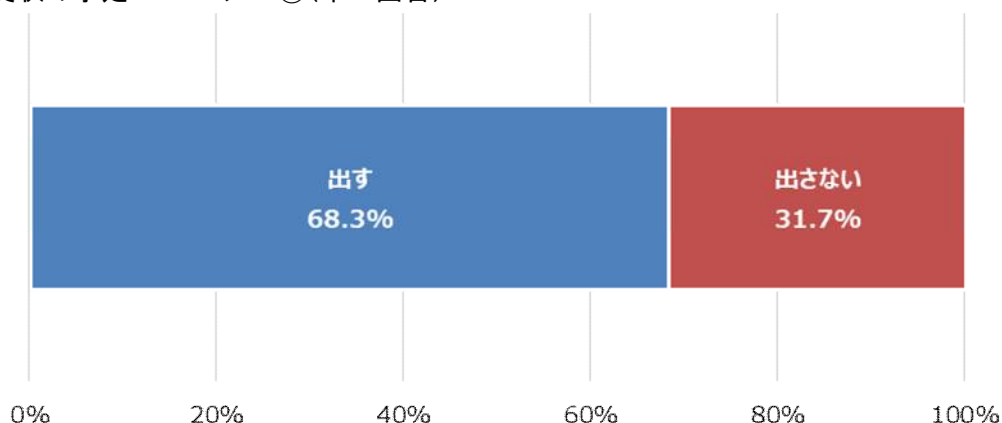
1. 年賀状を「出す」人、ついに7割を割り込んで過去最低を更新。「出さない」理由は、「面倒」、「LINE等メッセージアプリで代用」が上位に。年賀状を用意するのは「12月初旬」、投函するのは「仕事納め後」で準備期間は約3週間。

2019年の年賀状を出すかどうかを尋ねた＜年賀状の予定 1-①＞では、「出す」と答えた人は68.3%となりました。ここ数年、過去最低の数値を更新しており、減少傾向にはありましたが、ついに70%を切る結果となりました。

＜年賀状を出す理由 1-②＞は、「新年のあいさつとして」(80.1%)、「日頃の無沙汰」(51.0%)、「毎年年賀状をもらうので」(37.1%)が上位になりました。新年の挨拶はもちろん、日頃のお礼などに年賀状を使っていることがわかります。一方、＜年賀状の予定 1-①＞で、年賀状を「出さない」と答えた人に＜年賀状を出さない理由 1-②＞を聞いてみると、「準備が面倒」が昨年より数字を減らした(55.2%→39.8%)一方、ついに「メールで代用」(24.1%)を抜いて、「LINE等メッセージアプリで代用」(39.1%)が2位に入り、「準備が面倒」に肉薄しました。LINE等メッセージアプリが幅広い層に浸透してきたことがうかがえます。また、「SNS(Facebook、twitter、instagram等)で代用」(24.1%)も数字を伸ばしました。

また、年賀状を「出す」人に＜年賀状の準備を始める時期／投函する時期 1-③＞を聞いたところ、年賀状の準備を始める時期は「12月初旬」が31.1%で一番多い結果になりました。また、その年賀状をいつ頃までに投函するかを聞いてみたところ、約4割が「仕事納め後」(39.2%)と仕事を収めた後に用意する人が多いことがわかりました。つまり、4割近い人が年賀状を買ってから出すまで3週間程度をかけて準備をしているようです。

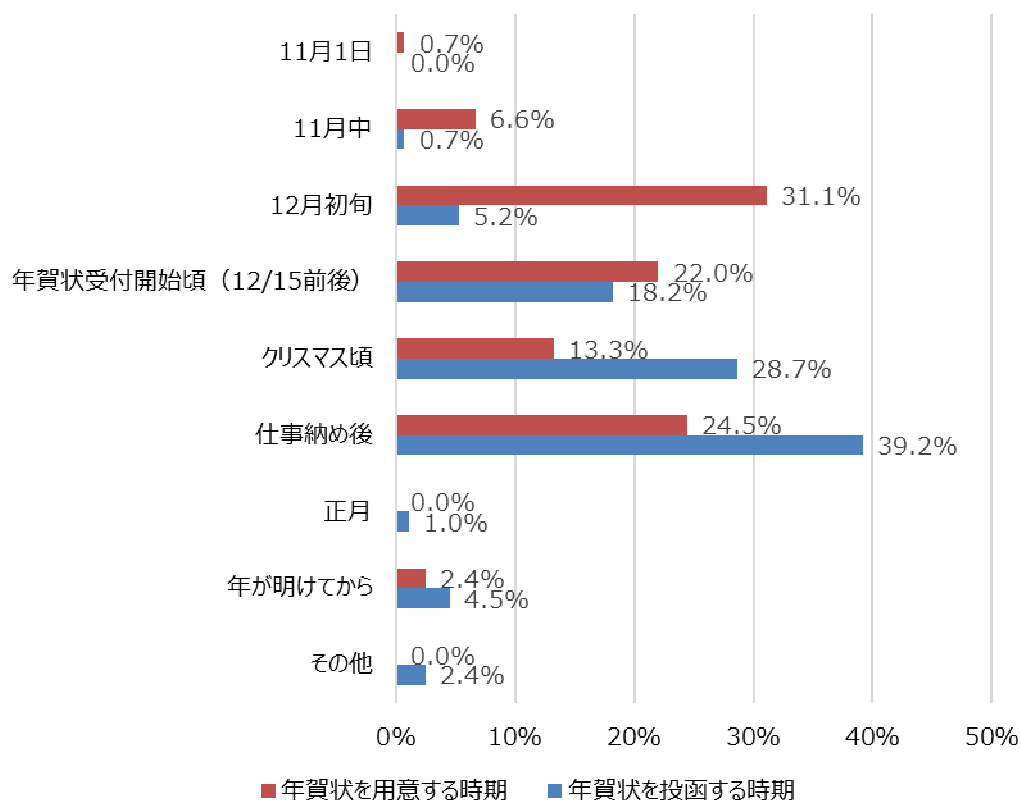
＜年賀状の予定 N=419＞1-①(単一回答)



＜年賀状を出す理由／出さない理由 N=286／N=133＞1-②(複数回答)

年賀状を出す理由 MA N=286			年賀状を出さない理由 MA N=133		
第1位	新年の挨拶として	80.1%	第1位	準備が面倒	39.8%
第2位	日頃、御無沙汰しているので	51.0%	第2位	LINE等メッセージアプリで代用	39.1%
第3位	毎年、年賀状をもらうので	37.1%	第3位	メールで代用	24.1%
第4位	お世話になっている(なった)ので	28.7%	第4位	SNS (Facebook, twitter, instagram等)で代用	24.1%
第5位	手紙をやり取りする貴重な機会	24.5%	第5位	出す習慣がない	21.8%
第6位	近況報告	23.4%	第6位	喪中	21.8%
第7位	親しさを表すしるしとして	18.5%	第7位	相手の住所がわからない	18.0%
第8位	義理・しぐらみで	17.1%	第8位	出す相手がいない	11.3%
第9位	習慣で・なんとなく	14.7%	第9位	忙しくて用意できない	9.0%
第10位	年賀状をもらうのが好き	14.3%	第10位	郵便代などコストがかかる	8.3%

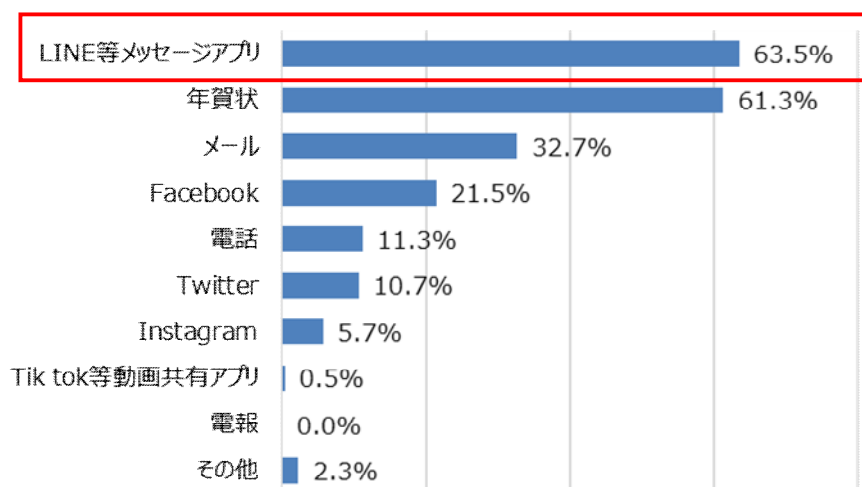
＜年賀状の準備を始める時期／投函する時期 N=286＞1-③(単一回答)



2. 新年の挨拶に使うツールは「LINE 等メッセージアプリ」がついに「年賀状」超え！

＜新年の挨拶で活用するツール 2-①＞について尋ねたところ、1 位は「LINE 等メッセージアプリ」(63.5%)で、ついに「年賀状」(61.3%)を上回りました。その後は「メール」(32.7%)、「Facebook」(21.5%)が続きました。

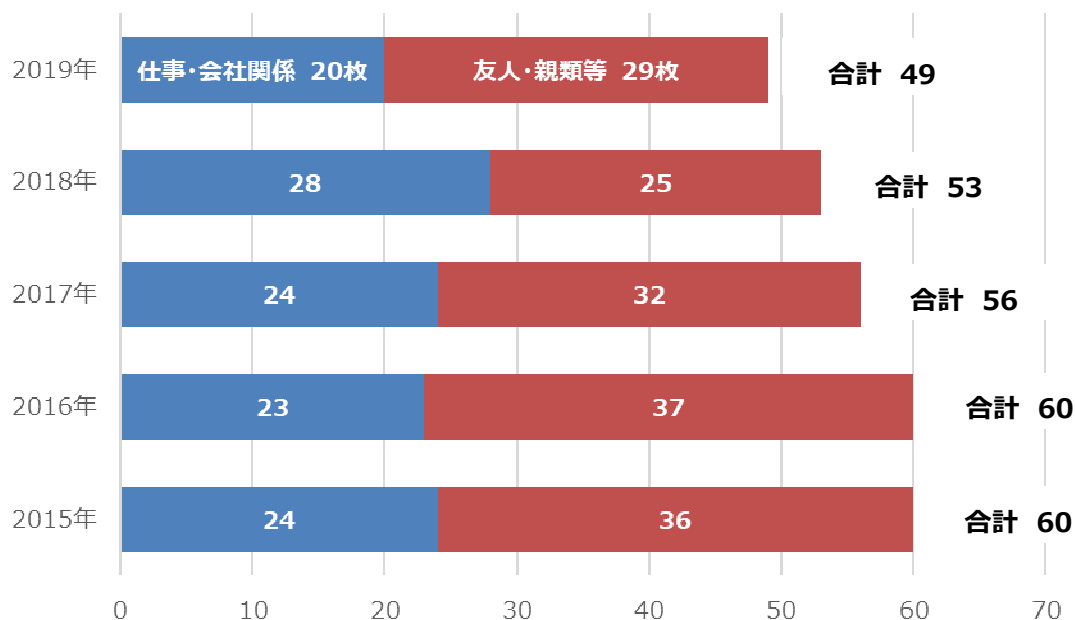
＜新年の挨拶で活用するツール N=419＞2-①(複数回答)



3. 年賀状を出す枚数、50枚を割り込む。「友人・親類等」に出す枚数が増加。年賀状をもらう枚数は昨年の平均「30枚」から「38枚」に大きく増加。「1月7日の松の内までにもらいたい」と思う人が6割超え。

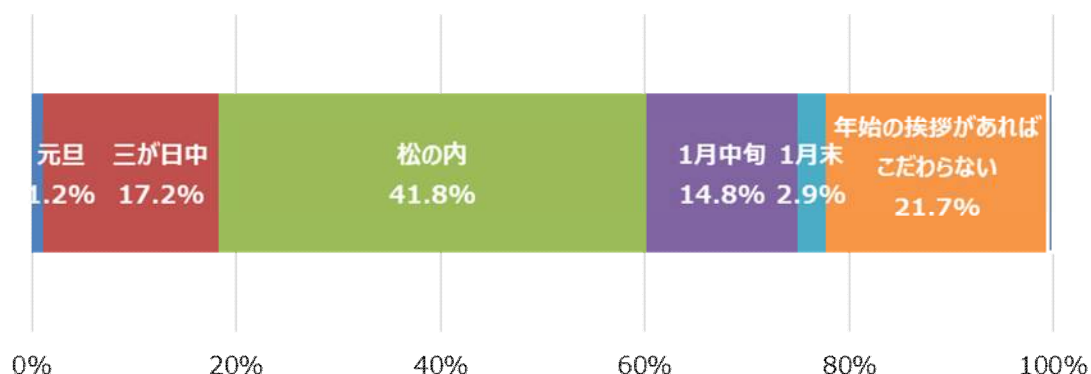
＜年賀状を出す枚数 3-①＞は、昨年の「53枚」からさらに減らして、ついに平均「49枚」となりました。その内訳は、「仕事・会社関係」が昨年と比べて8枚減少し、「友人・親類等」が昨年と比べて増加して「29枚」でした。＜年賀状をもらう枚数＞については、昨年から大きく増加し、平均「38枚」となり、出す枚数がもらう枚数より「11枚」多い結果となりました。なお、今回の調査での年賀状を出す最多予定枚数は50代男性の「320枚」で、もらう枚数の最多も50代男性の「350枚」でした。

＜年賀状を出す枚数 N=286＞3-①(数値自由回答)



＜どの時点までに届くものが年賀状か 3-②＞の質問では、「元日」(1.2%)、「三が日中」(17.2%)、「松の内」(41.8%)と半数以上が「松の内」(60.2%)までに届くものが年賀状と認めていることがわかりました。一方で、「年始の挨拶があればこだわらない」(21.7%)と答える人も多く、時期にこだわらないという人もいます。

＜どの時点までに届くものが年賀状か N=419＞3-②(単一回答)



4. 年賀状を出すのは「友人・知人」。出したいくないのは「仕事関係」だが、昨年と比べて出したいくない意向はひかえめ。

＜年賀状を出す相手 4-①＞は、例年と変わらず、「友人・知人」(90.2%)、「親類」(71.7%)、「会社等の上司」(35.7%)が上位に入りました。「友人・知人」は昨年から大きく数字を伸ばしています。一方で、＜できれば年賀状を出したいくない相手 4-②＞は、約半数が「出したいくない人はいない」(48.7%)と答えました。次いで、「会社等の上司」(22.9%)、「取引先等」(17.2%)が続きました。会社関係の宛先はいずれも 2018 年調査と比べて数字を減少し、今年は仕事関係の人に出したいくないという意向は少ないようです。

＜年賀状を出す相手 N=286＞4-①(複数回答)

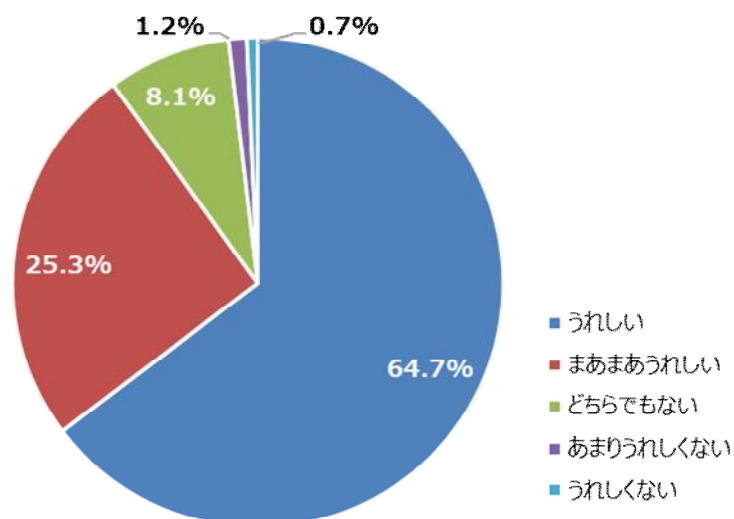
2019年			2018年		
第1位	友人・知人	90.2%	第1位	友人・知人	82.5%
第2位	親類関係	71.7%	第2位	親類関係	76.2%
第3位	会社等の上司	35.7%	第3位	会社等の上司	43.8%
第4位	会社等の同僚	30.8%	第4位	会社等の同僚	28.6%
第5位	恩師・恩人	27.3%	第5位	恩師・恩人	27.3%
第6位	取引先等	27.3%	第6位	取引先等	19.7%
第7位	学生時代の先輩・後輩	21.7%	第7位	学生時代の先輩・後輩	17.5%
第8位	年賀状友達	5.6%	第8位	年賀状友達	7.9%
第9位	部下	5.2%	第9位	息子・娘・孫	4.4%
第10位	息子・娘・孫	5.2%	第10位	彼・彼女	3.5%

＜できれば年賀状を出したいくない相手 N=419＞4-②(複数回答)

2019年			2018年		
第1位	出したいくない人はいない	48.7%	第1位	出したいくない人はいない	55.7%
第2位	会社等の上司	22.9%	第2位	会社等の上司	37.1%
第3位	取引先等	17.2%	第3位	会社等の同僚	25.1%
第4位	会社等の同僚	16.5%	第4位	取引先等	17.9%
第5位	部下	11.9%	第5位	部下	12.1%
第6位	親類関係	7.9%	第6位	親類関係	6.3%
第7位	年賀状友達	5.0%	第7位	学生時代の先輩・後輩	4.6%
第8位	恩師・恩人	3.3%	第8位	年賀状友達	4.4%
第9位	友人・知人	2.4%	第9位	恩師・恩人	3.9%
第10位	学生時代の先輩・後輩	2.1%	第10位	友人・知人	3.7%

5. 9 割以上の人が年賀状をもらって「うれしい」と感じている。もらってうれしい年賀状はイラストや手書きの文字が入った手製の年賀状。

＜年賀状をもらってうれしいか N=419＞5-①(単一回答)



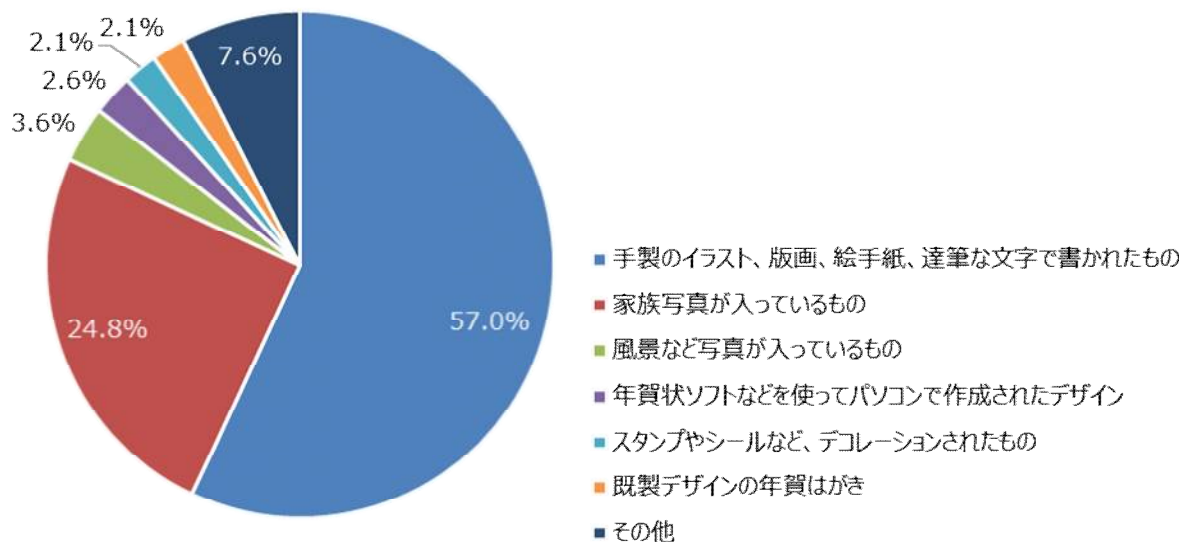
＜年賀状をもらってうれしいか 5-①＞について聞くと、「うれしい」(64.7%)、「まあまあうれしい」(25.3%)と多くの人が年賀状をもらうと「うれしい」と感じているようです。また、＜年賀状をもらって一番うれしい相手 5-②＞を聞いてみると、＜年賀状を出す相手＞と同様に「友人・知人」(55.1%)がトップで、2 位以下に大差をつけました。「会社等の上司」(3.1%)、「取引先」(1.7%)、「会社等の同僚」(1.2%)と仕事関係の人からはもらってもうれしくない傾向がわかりました。

＜年賀状をもらって一番うれしい相手 N=419＞ 5-②(単一回答)

第1位	友人・知人	55.1%
第2位	親類関係	15.0%
第3位	特になし	7.9%
第4位	学生時代の先輩・後輩	5.0%
第5位	恩師・恩人	5.0%
第6位	彼・彼女	3.3%
第7位	会社等の上司	3.1%
第8位	取引先等	1.7%
第9位	会社等の同僚	1.2%
第10位	年賀状友達	0.7%

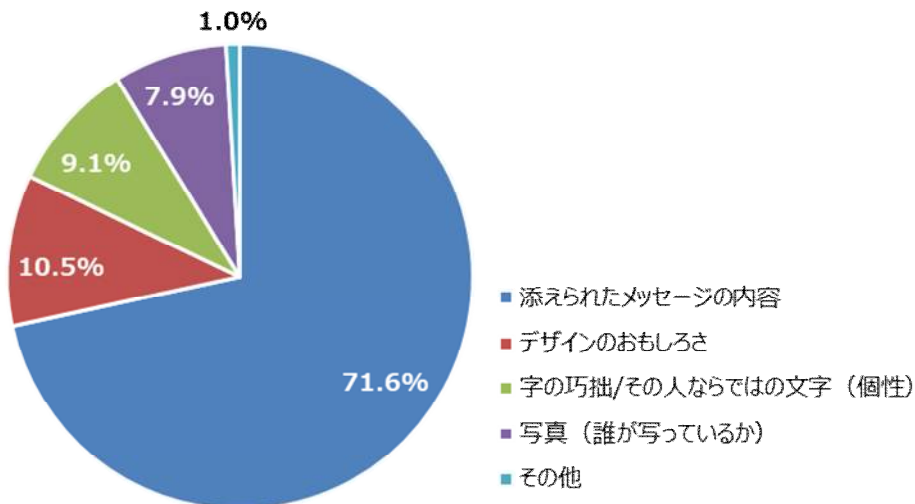
また、実際にもらう年賀状はどのような年賀状がうれしいか、＜もらって一番うれしい年賀状のタイプ 5-③＞を聞くと、「手製のイラスト、版画、絵手紙」(57.0%)がトップになり、手製の年賀状が人気な様子です。次いで、「家族写真が入っているもの」(24.8%)と答えました。

＜もらって一番うれしい年賀状のタイプ N=419＞ 5-③(単一回答)



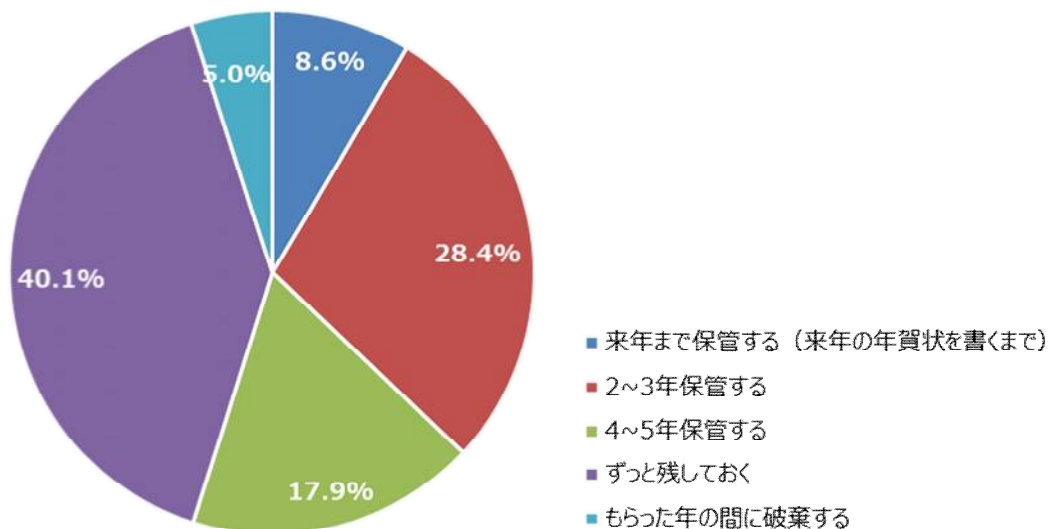
実際にもらう年賀状について、＜年賀状をもらって一番気になるところは何か 5-④＞を尋ねたところ、「添えられたメッセージの内容」が 71.6%で 1 位になり、次いで、「デザインのおもしろさ」(10.5%)が入りました。また、「字の巧拙／その人ならではの文字(個性)」(9.1%)という声も聞かれました。

＜年賀状をもらって一番気になるところは何か N=419＞ 5-④(単一回答)



また、＜もらった年賀状をいつまで保管しているか＞を聞いたところ、「ずっと残しておく」と答えた人が 40.1%でトップでした。年賀状は捨てられない大事な思い出としている人も多いようです。

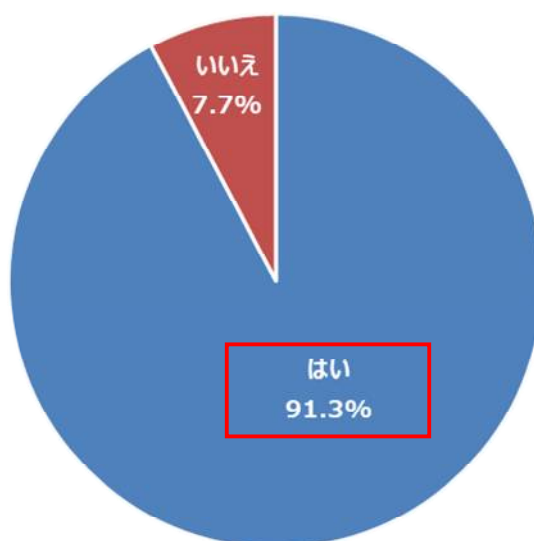
＜もらった年賀状をいつまで保管しているか N=419＞(単一回答)5-⑤



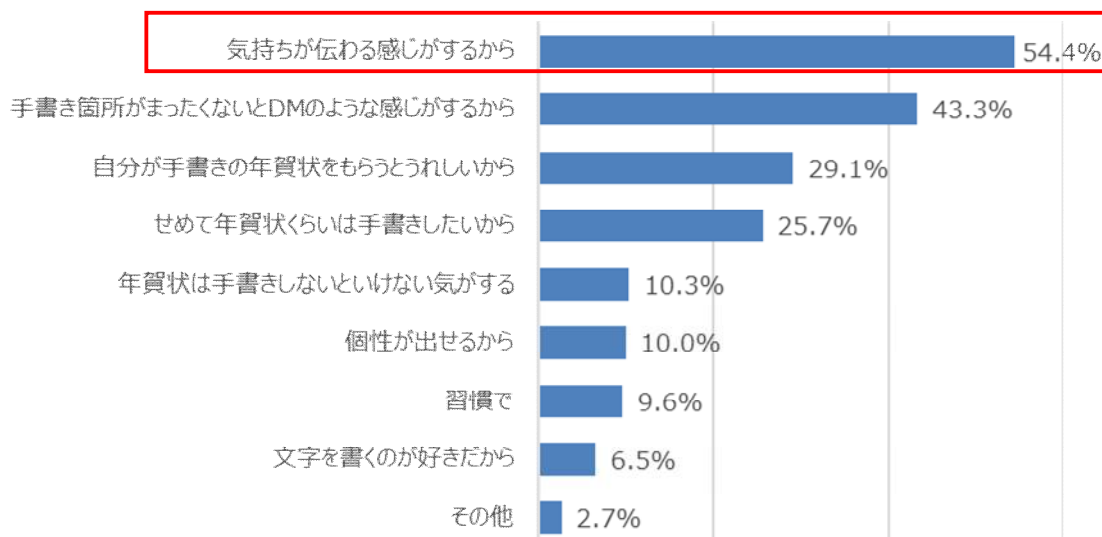
**6. 出す方ももらう方も年賀状は「手書き」！年賀状に手書き箇所がある人は9割以上。
出す枚数は減っても、年賀状は手書きを通じて、気持ちを伝えるツール。手書きに
使う筆記具は「ボールペン」が人気。**

＜年賀状の手書き箇所の有無 6-①＞を聞くと、91.3%の人が「手書き箇所がある」と答えました。昨年に続き、9割を超える支持を集めました。＜もらって一番うれしい年賀状のタイプ 5-③＞でも、「手製のイラスト、版画、絵手紙」(57.0%)が支持を集めたように、出す方ももらう方も年賀状は手書きが人気なようです。「手書き箇所がある」と答えた人に対して、＜年賀状を手書きする理由 6-②＞を尋ねると、「気持ちが伝わる感じがする」(54.4%)がトップで、次いで「手書き箇所がまったくないとDMのような感じがするから」(43.3%)が入りました。出す枚数は減っても、年賀状は手書きを通じて、気持ちを伝えるツールであるようです。また、＜年賀状の手書きに使う筆記具 6-③＞について聞いてみると、トップは「ボールペン」(75.5%)でした。次いで「サインペン」(30.3%)、「筆ペン」(16.9%)が続きました。

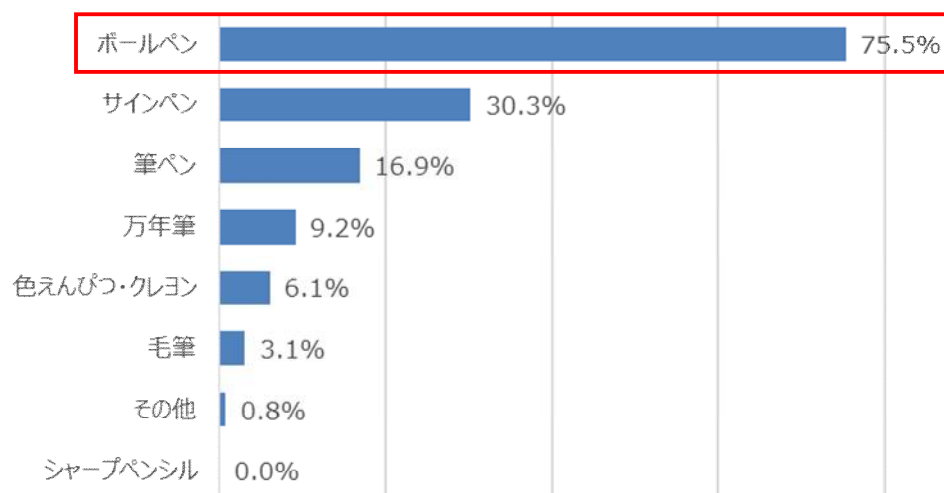
＜年賀状の手書き箇所の有無 N=286＞（単一回答） 6-①



＜年賀状を手書きする理由 N=261＞（複数回答） 6-②



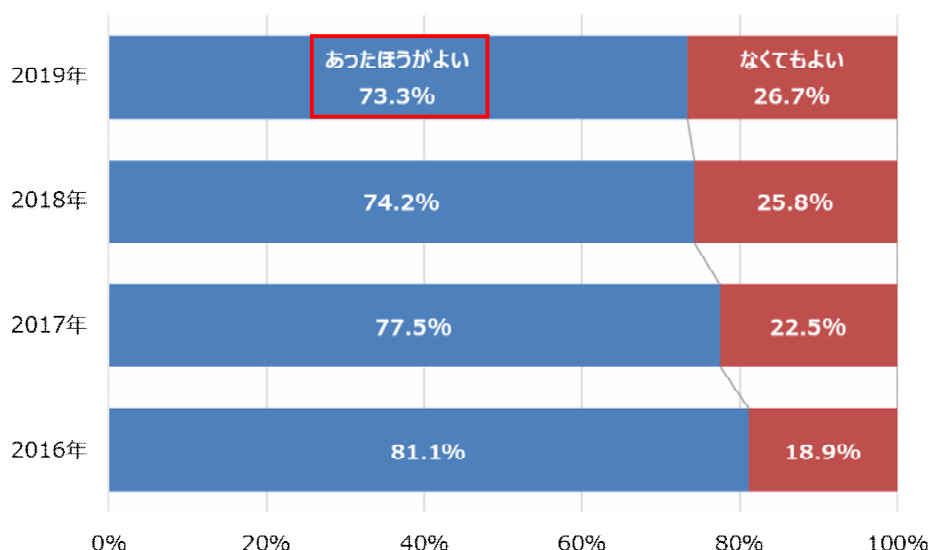
＜年賀状の手書きに使う筆記具 N=261＞（複数回答） 6-③



7. 「年賀状はあった方がいい」は今年も減少傾向だが、いまだ 7 割が「必要」と感じている。「年賀状は無くてもいい」と考える人の半数は「SNS で代用」と答え、形を変えても年始の挨拶は必要だと考えている様子

＜年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 7-①＞について尋ねたところ、73.3%の人が年賀状を「必要」と答えました。過去と比較しても減少傾向ではあるものの、いまだに 7 割を超える人が「必要」と感じているようです。＜年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 理由 7-②＞では、「年賀状をもらうとうれしいから」(45.9%)がトップになりました。出す枚数は減っても、やはり年賀状はもらってうれしいようです。また、次いで「お正月らしくなくて寂しい」(45.0%)となり、今でも正月の風物詩として年賀状は欠かせないと思う人は多いようです。一方、不要だと思う理由としては、「準備する手間が省けて楽になるから」(66.1%)が 1 位になり、「SNS など代用するから」(54.5%)が続きました。年賀状の準備は手間だとしても、SNS 等形を変えて年始の挨拶は行う様子がうかがえました。

＜年賀状があった方がいいか、なくてもいいか 7-①N=419＞（単一回答） 7-①



<年賀状習慣があった方がいい N=307／なくてもいい N=112 の理由>（複数回答） 7-②

あったほうがよい理由			なくてもよい理由		
第1位	年賀状をもらうとうれしいから	45.9%	第1位	準備する手間が省けて楽になるから	66.1%
第2位	お正月らしくなくて寂しいから	45.0%	第2位	SNSなどで代用するから	54.5%
第3位	会えない人との連絡が途絶えてしまい困るから	39.1%	第3位	出す、出さないを悩まなくてすむから	49.5%
第4位	日本の伝統や独自の文化が衰退してしまいそうで心配だから	23.1%			
-	その他	1.6%			